

国語

試験日 平成二十六年二月四日(火曜日)

開始時刻 午前十時三十分

終了時刻 午前十一時三十分

注意事項

- 一、この冊子は十九ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明などがあつた場合には申し出て下さい。
二、解答はかならず解答用紙(マークシート)の指定されたところの番号をマークして下さい。
三、解答用紙の受験番号欄には、かならず受験番号(七ケタ)を記入し、その番号をマークして下さい。
四、解答用紙への記入は黒鉛筆(H・HBのいずれか)を、解答を消す場合は、プラスチック消しゴムを使用して下さい。
五、解答用紙は試験が終了したら、かならず提出して下さい。
六、試験室内で配布された問題用紙は、持ち帰って結構です。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

アテネのアクロポリスにあるバルテノン神殿は、おさない頃から、私にとってごく親しい存在だった。少年向きの写真集のたぐいで知って、その簡素で優雅な立姿にうっとりして以来のことだが、私の場合、これは、子供っぽい好奇心を刺激されたというだけのことではなかった。その姿は、一見して直ちに私の眼と心に刻み込まれ、建築についての私のヴィジョンのひとつの核を形作ったと言つていい。バルテノンに対する私のこのような反応は、もちろん、おさない私から見ても、その美しさのせいだが、それは、そればかりではない。

私は小学校から旧制高校まで十年あまりの時を京都で過ごしたが、その間、京都や、さらには奈良のかずかずの寺に、自分でも不思議なほど夢中になった。家のそばにあつた大徳寺をはじめとしてあちこちの寺に出かけ、屋根の線や柱の立姿を眺めることが、私の生活の、ごく日常的な、A ある独特の快感をほらんだ一部になつていた。おさない私が、たいして大きくもないバルテノンの写真に、即座にあのように強く反応したのは、ひとつには、こんなふうIに寺に親しんできたことが、建築に対する私の眼をひどく敏感にしていたせいだろう。

だが私の反応には、それだけでは片付かぬところがある。寺を見る私のまなざしを支えているのは、まだ生命のあたたかみを残しているような、あるやわらかさがしみとおつた、木材という素材の材質感であり、茶や褐色を主要色とした色彩であり、樹木その他それを取り巻くものとの親和感である。私が寺に通つて味わつていた視覚的快感はそれらと濃密に結びついていたのであつて、B、それとは対シヨウ的なバルテノンの立姿にいつそう鮮やかな印象を受けたのだらう。

大理石のがつしりと内側から詰まつた、硬質で重い材質感。この材質感に支えられながら陽を受けて輝くその白い色彩。一見廃墟のようにも見える白っぽいアクロポリスの丘のうえに立つ、崩れた屋根や、基底部のほかは、巨大な石柱が立ち並ぶだけのように見える立姿。それは、いっさいのあいまいな飾りをそぎ落し、建築の本質そのものをこのうえなく純化されたかたちで示しているようだった。眺めていると、それは、強固な存在感につらぬかれたものでありながら、軽やかな幻のようにも

見えてくる。そう思つて眺め続けていると再びその存在感を取り戻すのである。II とのこのようならみ合いがくり返し新たに私をとらえた。私は事あるごとにこの写真集を眺めて飽きることがなかったのである。その後チヨウずるにつれて私はヨーロッパの美術や文学にのめり込むこととなつたが、そういう経験を重ねることでバルテノンの印象が薄れるというようなことはないさかもなかつた。C、経験を重ねれば重ねるほど、それら全体を支える根幹として、その印象はいっそう深く私の眼と心に刻み込まれた。それは単に建築というジャンルのなかでの傑作に留まるものではなかつた。ポール・ヴァレリーは『ヨーロッパ人』という文章で、「ヨーロッパ人を形成する三つの要素として『ローマ』と『キリスト教』と『ギリシア』をあげている。そしてわれわれヨーロッパ人がギリシアに負うものこそは、恐らくわれわれを最も深く他の人類から区別したものである。われわれは、『精神』の規律、あらゆる秩序における完成の異常な模範をギリシアに負っている。われわれはあらゆる事物を、人間に、ジユウ全な人間に結びつけようとする思考方法をギリシアに負っている(渡辺一夫、佐々木明訳)と言ふのだが、ヨーロッパの美術や文学に、またさまざまなヨーロッパ思想に親しむにつれて、このような『ギリシア』が私のなかで刻々にそのリアリティを増してゆくように思われた。その影響は常にはつきりと見てとれるわけではない。あらわに示されていることもあるが、奥深く秘められていることもある。はじめはそうと気付かなかつたのに、突然、決定的な動因として立ち現われることもある。私とギリシアとのかわりも、けつして直線的なものではなく、ジグザクに屈折したものをほらんでいたが、こういう歩みそのものが、ギリシアのイメージに生き生きとしたひろがりを与えたようだ。そして、そのようなギリシアをもっとも純粋なかたちで体現するものとして、バルテノンは、私のなかで変ることなく輝き続けたと言つていい。

(粟津則雄『私の空想美術館』)

問一 傍線部①「対シヨウ」、②「チヨウずる」、③「ジユウ全」のカタカナの部分と同じ漢字を含むものの最適な組み合わせを選びなさい。解答番号は I。

- ① シヨウ明器具 ② 物質をチヨウ達する ③ バッテリーのジユウ電
② 左右対シヨウ ③ 物質をチヨウ達する ④ ジユウ順な態度
③ 左右対シヨウ ④ チヨウ絶的な技巧 ⑤ トオ日の菊
④ シヨウ明器具 ⑤ ナカ雨が続く ⑥ モーゼのジツ戒
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

問二 空欄 2 に入ることをばとして最適な組み合わせを選びなさい。解答番号は 3。

- ① A だが B なのいっそう C ところが
② A だが B だからこそ C それどころか
③ A しかも B だからこそ C したがって
④ A しかも B むしろ C それどころか
⑤ A そして B むしろ C したがって

問三 傍線部(ア)「立」(一)、「[な]か」の活用形の最適な組み合わせを選びなさい。解答番号は [3]。

- ① ㊦ 連用形 ㊦ 未然形
- ② ㊦ 連用形 ㊦ 連用形
- ③ ㊦ 終止形 ㊦ 終止形
- ④ ㊦ 連体形 ㊦ 未然形
- ⑤ ㊦ 連体形 ㊦ 連用形

◇M1(804-5)

問四 傍線部「バルテノンに対する私のこのような反応は、私がどういう体験をしてきたからであると言っているか。筆者は波線部「それほどばかりではない」、「それ」だけで、は片付かぬところがあ」のような表現を重ねながら、最も大切な体験に言及しています。その説明として、最適なものを次の中から選びなさい。解答番号は [4]。

- ① バルテノン神殿の堅固に引きしまり、しかものびやかな自由感がしみとおった美に感動したこと。
- ② 京都や奈良の寺におさないう頃から夢中になったという原初的な体験をしたこと。
- ③ 京都や奈良の寺の建築素材や色彩、周囲の自然との親和感等々の感覚を感じたこと。
- ④ 京都や奈良の寺の屋根の線や柱の立姿の視覚的な美に感動したこと。
- ⑤ 京都や奈良の寺とは完全に別個な美の在り方をバルテノン神殿から教えられたこと。

— 4 —

問五 第一段落中の空欄 [1] に当てはまる表現として最適なものを次の①～⑤から選びなさい。解答番号は [5]。

- ① 何ひとつ余分なものはないと感じられるほど堅固に引きしまつていながら、今一方で、すみずみまでのびやかな自由感がしみとおった
- ② 現代の最も優れた建築家がどう頑張ってもなお不可能としか思われなほとまでに、巨大さと繊細さが見事に調和している
- ③ 永遠には存在しない建築物が、崩れた後もなお本来の美しさで存在することを信じた無名の建築家の想像力と創造力を思わせる
- ④ 創建当時と異なつてしまった現在の荒廃した風土の中でもまったく毀損されることなく周囲を己の美の中に自在に取り込んでいる
- ⑤ 知識を身につけた後年の私と違い、まだ若やかな感性を保つおさなかつた私にストレートに訴え、夢幻の世界に誘つていった

◇M1(804-6)

問六 空欄 [II] に当てはまる最適なものを選びなさい。解答番号は [6]。

- ① 変化と普遍
- ② 廃墟と極美
- ③ 不易と流行
- ④ 変幻と存在
- ⑤ 非在と存在

— 5 —

問七 傍線部(ア)「負」(一)、「動因」の正しい意味の組み合わせとして最適なものを選びなさい。解答番号は [7]。

- ① ㊦ 借りる ㊦ 予め見えられた結果を導き出す原因
- ② ㊦ 背負う ㊦ 歴史を動かす目に見えない原動力
- ③ ㊦ 恩恵を受ける ㊦ ある物事をひきおこす直接の原因
- ④ ㊦ 引き継ぐ ㊦ 物事に一定の枠づけを与える力
- ⑤ ㊦ 引け目を感じる ㊦ 文化・芸術を生み出す社会の要因

◇M1(804-7)

問八 次の①～⑥の中で、本文の内容に合致しないものを二つ選びなさい(順番は問いません)。解答番号は [8]。

- ① 建築に対する筆者の審美眼を鋭くしたものは京都や奈良の寺である。
- ② 日本の寺は筆者の考える建築の本質に合致していない。
- ③ バルテノン神殿は建築の本質を純化した形で示している。
- ④ 古代ギリシアは人間中心主義の考え方が特徴であると言われている。
- ⑤ バルテノン神殿の美しさは無機的、かつ廃墟の美というべきものである。
- ⑥ ヨーロッパの文化、芸術の根幹にはギリシア文化がある。

— 6 —

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

i Pad(タブレット)が始めた頃、まだ立つこともできないような赤ちゃんが指でタップしたり、スワイプ画面に触れたまま指でなぞる操作したりして、お絵かきアプリを起動し使いこなすような動画が話題になった。それが、あつという間に珍しいことではなくなった。今では、逆にテレビの画面にタッチして反応しないことにはらだつ赤ちゃんもいる。大型ディスプレイを使った駅などの電子看板でも、小さな子供が駆け寄つてまずタッチする。反応しないと、興味を失つたようにすぐ離れていく。

こちらが何かするとそれに対応して何かの変化がおこり、それに対応してこちらが違う操作をする。また反応する——という双方向の反応性を、コンピューターの世界では「インタラクティブ」という。一言前、テレビに子供のお守りをさせることとして、情報を垂れ流すだけのメディアは子供の発達につながらないと言われた。 [I]。インタラクティブ性を持たないから危険というわけだ。

しかし、その後ゲーム脳の恐怖のような話が出てくる。今度は、やればやるほど、敵を倒せるとかステージが上がるとかいった達成感が手軽に得られ、だから楽しい、だからハマつて危ないという話になる。今度は、 [II]。

[III]、こういう〇〇が危ないの類いの流行論は大抵穴だらけ。薬理学的に「毒」に分類されるものでも十分に少量なら害はないし、物によっては薬にもなる。どんな毒にも「しきい値」があるし、それがあから生物はここまで生きてこられた。逆に、生きるのに欠かせない水でも飲み過ぎれば水中毒になる。どんな食品もそればかり食べていけば健康を害す。だから結局、一番いいのは「バランスの良い食事」。つまり、すべては「程度の問題」だ。

テレビに子守をまかせっぱなしは当然良くないし、一日中ゲームをやっているのを許すのはしつつけの [B] だ。一方「程度の問題を無視して、幼児期にテレビを見せたら発育遅れ」とか、「ゲームをさせたら犯罪者」といった定性的で断定的な話は、科学でも何でもない。子供を思う親心をダシにした、恐怖商法の類いと思つていい。

◇M1(804-8)

— 7 —

こういう話をしたのは、スマホやタブレットが普及してそれに触れる子供が増えるに従い、またぞろ「スマホやタブレットが子供に与える悪影響」というネタで商売する人たちが現れそうだからだ。感覚的に「これは怖い」と思われるように書かれたネタを読んだら「程度の問題」と3回繰り返すこと。大抵は「程度の問題」を無視して、過剰摂取のときの問題を大げさに書いていただけだ。

食品で「1日30品目」というように、何か「いい悪い」というより、多様性こそが「善」。同様に、テレビもビデオもインターネットもタブレットも、そして絵本も積み木も親のスキンシップも、多様な情報に触れられるこれからの世代はうらやましい。赤ちゃんの頃から、すべての二次元画像がタッチすれば反応するのが当然の世代である。彼らは、この世界を新しい観点で見られるようになるのだろうか。

〔坂村健の目〕『毎日新聞』2013年6月20日

〔注〕しきい値——ある反応をおこすのに必要な最小の量や強度をいう。

問一 この文章で筆者が最も言いたいことを表していると思われるものはどれか。次の中から最適なものを選び、番号をマークしなさい。解答番号は 10。

- ① どんな毒にも「しきい値」がある
- ② 過剰摂取が問題
- ③ 多様性こそが「善」
- ④ 流行論は大抵穴だらけ
- ⑤ スマホやタブレットが子供に与える悪影響

問二 第一段落はこの文章の中でどのような役割を果たしているか。次の中から最適なものを選び、番号をマークしなさい。

解答番号は、11。

- ① インタラクティブな機器の登場が子供の行動を変化させていることを事例に、〔 〇 〕が危ない」式の話に人は感わされがちであるという話につながるための段落である。
- ② 一方的な情報提供の時代と比べて、双方向の反応性を持つ刺激があると、子供の知能は発達が進まされることを示す例を挙げた段落である。
- ③ インタラクティブな反応が当たり前という環境で子供が簡単に達成感が得られるようになったことは憂慮すべき変化だということを読者に気づかせるための段落である。
- ④ 子供には「1日30品目」の食材を食べさせることの必要性に気づかせるために、最近の子供の行動が変わってきているという例を挙げた段落である。
- ⑤ 大人と比べて、赤ちゃんが驚異的な速さで環境に適応していくことを、誰にでもわかるような例で示した段落である。

◇M1 (804—10)

— 8 —

◇M1 (804—9)

問三

I に入れる文として最適なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は 12。

- ① 見ている側が何をしても反応しないようなメディアでは、内容がよほど面白くない限り、子供は興味を失い、見ようとしなくなってしまう
- ② 子供に多量の情報を一方的に与えると、何が必要で有益な情報なのか判断できないので、劣悪な内容の番組を好むようになってしまふ
- ③ 一方的な情報を与えるだけでは子供はすぐに飽き足らなくなり、もっと過激な刺激を求める人間に育ってしまう
- ④ 興味を引く面白い内容であればあるほど、それにとらわれて一方的に情報を受け取るだけの人間に育ってしまう
- ⑤ テレビにお守りをさせると、子供がいたずらをしてもらってもだれも注意できないし、予期せぬ緊急事態が発生しても救うこともできない

問四

II に当てはまる表現として最適なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は 13。

- ① インタラクティブ性がもたらす中毒症状を無視できないというわけだ
- ② インタラクティブ性は危険というわけだ
- ③ インタラクティブ性にも二面性があるというわけだ
- ④ インタラクティブ性とは何かという本質が問われるわけだ
- ⑤ インタラクティブ性を危険視する人が出てくるというわけだ

問五

第4段落はこの文章にとって、重要な位置を占める段落である。III に当てはまる、この段落を始めるのにふさわしい語句とその理由を述べたものとして最適なものを、次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は 14。

- ① 「とはいうものの」→前の事柄を認めつつ、それに反することがあることを示す段落だから。
- ② 「やはり」→他の可能性も考えられるけれども、最終的な結論とも言える段落だから。
- ③ 「しかしながら」→当該の物事がすべてここに集約されることを示す段落だから。
- ④ 「そもそも」→問題の根源的な部分を説き起こす段落だから。
- ⑤ 「なにしろ」→どの意見も信じる価値がないことを強調する段落だから。

問六

筆者がこの文章を書こうと考えた動機として、最適と思われるものを次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は 15。

- ① スマホやタブレットにハマってしまうことの危険性を訴えたいと考えたから。
- ② 双方向性の危険性が注目され、効用が見落とされているのではないかと考えたから。
- ③ 進歩するメディアにどう反論していけばよいかを読者に示したかったから。
- ④ インタラクティブ性を持つ機器の有用性と注意点を知らせてもらいたかったから。
- ⑤ スマホやタブレットをネタに金儲けをしようとする評論家や作家が出てくることを考えたから。

◇M1 (804—12)

— 10 —

◇M1 (804—11)

— 9 —

問七 ①、⑥の中で、本文の内容に台致しないものを二つ選びなさい(順番は問いません)。解答番号は、17、16、

- ① 子供のことを思う親を不安にさせることで金儲けをしようとするとする人には気をつけたほうがよい。
- ② 手軽な達成感ばかり求めていると、本当の人生の充実感を得られなくなる。
- ③ 幼いときから多様な情報に触れることで、新たな視点でものを見る世代が生まれる可能性がある。
- ④ 「いたら、〇〇になる」というような定性的、断定的な話は非科学的なものが多い。
- ⑤ 何か「いい悪い」というより、すべては程度の問題であり、多様性が重要である。
- ⑥ 「これは怖い」というような情報は大半がウソであるから、惑わされてはいけない。

問八 空欄 A、B に入れる語句として最適なものを次の中から選び、番号をマークしなさい。解答番号は、18、19。

- | | |
|------|------|
| A | B |
| ① 障害 | ① 放置 |
| ② 利害 | ② 放棄 |
| ③ 妨害 | ③ 怠慢 |
| ④ 阻害 | ④ 忘却 |
| ⑤ 弊害 | ⑤ 遺棄 |

三 次の各問いに答えなさい。

問一 次の文章は「夫婦別姓」について書かれたものですが、この説明として適当でないものを二つ選び、その番号をマークしなさい(順番は問いません)。解答番号は、20、21。

私は、夫婦別姓を認めるべきだという考えに賛成する。婚姻時に男性が改姓することも可能だが、実際には女性が改姓するのがほとんどであり、男女平等ではないと思うからである。たしかに、結婚して、愛する男性と同じ姓になることに喜びを感じる女性が多い。また、結婚した二人が同じ姓を名乗ることによって、家族の絆や一体感、連帯感といったものが生まれ、新しい家庭を共に築き上げていこうという気持ちが芽生えることもたしかだろう。

しかし、改姓は女性に多大な負担や苦痛を与えることがある。名前は個人のアイデンティティを支えるものであり、慣れ親しんだ名前がなくなることによる違和感や喪失感を覚え、それまでの自分を否定されたように感じる女性も少なくないという。また、仕事を持つ女性の場合、姓が変わることにより、長年築き上げてきた実績を失うなど仕事に支障をきたす恐れもある。さらには、姓が変わることにより、結婚、あるいは離婚したことが他人に知られてしまうというプライバシーの問題も起るのである。

これらのことから、やはり夫婦別姓を認めるべきだと考える。夫婦別姓といっても、もちろん夫婦が別姓にしなればならないということではない。婚姻時に、同姓にするか、別姓にするかを決められるようにすればよい。また、婚姻後に改姓することも可能にするべきである。姓の問題については、そのような選択肢があつてはじめて男女平等と言えるのではないだろうか。

- ① 第一段落で自分の意見を表明するとともに、その理由を示している。
- ② 第二段落で自分と反対の意見の根拠となる例を挙げ、理解を示している。
- ③ 第二段落で自分の意見が妥当であることを、例を挙げて示している。
- ④ 第三段落で自分と反対の意見の問題点を指摘し、自分の意見の根拠としている。
- ⑤ 第三段落で自分の意見の問題点を挙げ、第四段落で自分の意見を修正している。
- ⑥ 第四段落で自分の意見が妥当であることを示し、さらに具体的な提案をしている。

問二 次の文章は精神科医・泉谷閑示氏の著書『普通がいい』という病の冒頭の文章である。A、Dの順番として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 22。

心の問題を扱っていますと、身体を診る一般科ではあまり問題にならないような、特殊なテーマにいろいろと遭遇します。

たとえば、クライアントのお話を聞いていくうちに、むしろ周りにいる人たちが病んでいるんじゃないかと思えてくることもあります。その人自身が病んでいなかったからこそ、歪んだ周囲に反応して具合が悪くなっていたり、また、日本の精神風土に染まり切れないために不適応が起こっているようなケースもある。

- A 違和感を覚えなくて生きている多数派の方がすなわち健康、と考えるのはあまりに早計でしょう。
- B さうらは、現代社会の不自然さに対して馴染めなために苦しんでいる人もいる。
- C そこで、病気と健康、あるいは異常と正常、それらは一体どこで線が引けるものなのか、あるいは、果たして線を引くべきなのかどうか。
- D そういうわけで、本人と環境の、そもそも一体どちらが問題なのかということについては、そう簡単に判断することはできません。

ここから私たちの問いを始めていくことにしたいと思います。

- ① A ↓ B ↓ C ↓ D
- ② A ↓ D ↓ B ↓ C
- ③ A ↓ C ↓ B ↓ D
- ④ B ↓ A ↓ C ↓ D
- ⑤ B ↓ D ↓ A ↓ C

問三 誤字を含む文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 23。

- ① 各都道府県知事が一堂に会して地方自治を取り巻く諸問題について話し合った。
- ② 企業は大義名文を掲げて、人員削減を実行に移そうとしていた。
- ③ 外国人の中には、日本での生活に孤独感をいだく人が少なくない。
- ④ メーカー独特のこの製品は、数々の試行錯誤と紆余曲折を経て完成するに至った。
- ⑤ 株主総会では、業績不振の責任を追究するべきとの意見が多く、支持を集めた。

問四 傍線部に誤った読み方を含むものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 24。

- ① 考えを異にする(ことにする)
- ② 冬枯れの景色も趣がある(おもむきがある)
- ③ 分別のないことを言う(ふんべつのない)
- ④ 官を辞して野に下る(のにくだる)
- ⑤ 質問に間髪をいれず答えた(かんはつをいれず)

問五 対義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 25。

- ① 巧妙 ↔ 幼稚
- ② 反抗 ↔ 服従
- ③ 慎重 ↔ 軽率
- ④ 精密 ↔ 粗雑
- ⑤ 真実 ↔ 虚偽

問六 傍線部の言葉の使い方が適切でない文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 26。

- ① 言語の特徴について語られる時、日本語の難しさがことさら強調されることがある。
- ② 市長が公約に掲げた市政改革は、今のところおおむね順調に進んでいる。
- ③ 彼の主張には問題が多々あるが、あなたが間違いだとは言えないのも確かである。
- ④ この岬の景色は秋の夕暮れ時がとみに美しく、観光客があとをたたない。
- ⑤ およそ哲学というものは、常識をわかりにくいことばで表現したものにすぎない。

問七 適切な表現の文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 27。

- ① あの人は何を考えているか分からないから、気が置けないね。
- ② 議論が煮詰まってきたようなので、少し休憩をとって、それからまた話し合いますよ。
- ③ 英語力を買われて、交渉の担当として彼に白羽の矢がたった。
- ④ 申し訳ありませんが、私には役不足で、そんな大任は引き受けられません。
- ⑤ 耳ざわりのいいことばかり言う政治家は信用できない。

問八 この説明が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 28。

- ① イノベーション(よりよいものに改めること。修理。修復)
- ② モチベーション(意欲、意欲のもとになる動機)
- ③ インフラ(道路・水道・鉄道などの社会基盤)
- ④ コンセンサス(合意形成。複数、大多数による合意)
- ⑤ コラボレーション(複数の人・団体によって行われる共同作業)

問九 敬語が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 29。

- ① (社員が社長に) 会長は来月中旬にロンドンへおいでになる予定です。
- ② (社員が課長に) 部長はこの書類をご覧になったと存じます。
- ③ (学生が教授に) 父も先生をよく存じ上げていると申しております。
- ④ (店員が客に) こちらはわかりかねますので、受付で伺ってみてください。
- ⑤ (受付が客に) たた今担当者がまいりますので、こちらにおかけになってお待ちください。

問十 敬語が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 30。

- ① A 「明日お宅へ伺ってもよろしいでしょうか。」
B 「ええ、どうぞ、いらっしゃってください。」
- ② A 「どうぞ熱いうちにいただいでください。」
B 「ありがとうございます。では、遠慮なく。」
- ③ A 「この問題について社長は、」
B 「はい。社長はまだご存じなかったもので、私がお話ししました。」
- ④ A 「主人はいま出かけておりますが、」
B 「では、申し訳ありませんが、電話があったことをお伝えください。」
- ⑤ A 「先日お送りしたメールはご覧いただけましたでしょうか。」
B 「ええ。拝見しました。」